

鉄道

学年	科目名
1	鉄道概論
1	鉄道係員
1	鉄道車両
1	鉄道駅実務
1	鉄道旅行プランニング
1	鉄道業界研究
1	サービス介助士
1	就職活動講座
1	就職筆記対策Ⅰ
1	就職筆記対策Ⅱ
1	面接対策
1	ビジネスマナー
1	ペン字
1	TOEIC/英検対策Ⅰ
1	TOEIC/英検対策Ⅱ
1	第二外国語（韓国語）
1	選択TOEIC
2	鉄道概論
2	鉄道実務
2	鉄道旅行プランニング
2	フレッシュャーズ教育
2	手話
2	コンピュータ
2	コミュニケーション学
2	第二外国語（中国語）

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	鉄道科	
科目名	鉄道概論				クラス	Nクラス
担当講師(フルネーム)	花生 義一				実務経験	有(鉄道業界勤務歴)
授業概要(内容)	鉄道に関わる用語、合図、標識、車両を知る 運転理論の意義を学ぶ				授業形態	講義&演習
到達目標	鉄道の安全に対する知識を学ぶ					
使用テキスト	わかりやすい鉄道技術(1、2、3)、講師作成プリント					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	1. カリキュラムの説明 2. 主な鉄道用語概要を行い授業が柔軟に進めるよう周知する 3. 用語の意義を説明することにより、より深みのある授業にす				
2回	鉄道の標識①	1. 標識の意義 ・鉄道標識の意義を知ることによって標識に対する意識を深める ・鉄道の安全を維持するための標識であることを意識付けする				
3回	鉄道の標識②	1. 標識の種類 ・標識の種類と役割を知り、標識の重要性を知る				
4回	鉄道の標識③	1. 鉄道車両概要 ・鉄道車両に対する省令を知ることにより、規定内容を同時に知る ・標識に対する習熟度確認により授業内容の把握を確認する				
5回	鉄道の標識④	1. 鉄道車両概要 ・鉄道車両に対する省令を知ることにより、規定内容を同時に知る ・標識に対する習熟度確認により授業内容の把握を確認する				
6回	鉄道の標識⑤	1. 鉄道車両概要 ・鉄道車両に対する省令を知ることにより、規定内容を同時に知る ・標識に対する習熟度確認により授業内容の把握を確認する				
7回	鉄道車両紹介①	1. 鉄道車両概要 ・鉄道車両に対する省令を知ることにより、規定内容を同時に知る ・鉄道車両に対する各鉄道会社の着目点を知る				
8回	鉄道車両紹介②	1. 九州の鉄道会社 ・車両の特徴を知る ・各車両の営業目的に合った特徴を知る				
9回	鉄道車両紹介③	1. 九州の鉄道会社-2 ・車両の特徴を知る ・各車両の営業目的に合った特徴を知る				
10回	鉄道車両紹介④	1. ワンマン列車の特徴を知る ・ワンマン車両の基本 ・ワンマン列車の規定を学ぶ				
11回	運転理論①	1. 運転速度の定義を学ぶ ・均衡速度・表定速度・平均速度・計画速度・進入速度・進出速度・通過速度・実測速度 ・観測速度・推定速度・許容速度を学ぶ				
12回	運転理論②	1. けん引き定数を知り、列車運転に対する定義を学ぶ 2. 車種別によるけん引き定数の表し方を知る 3. けん引き定数の表記方に対する注意点を学ぶ				
13回	期末試験対策	1. 知悉度調査を実施する ・知湿度調査を行うことにより理解度を確認する ・理解度の状態を把握し、解説を再度行い、習熟度の向上を図る				
14回	期末試験	1. 期末試験 ・理解度の確認及び全体評価				
15回	まとめ	1. 総まとめ、全体質疑 2. 期末試験に対するフィードバック				

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	鉄道科	
科目名	鉄道係員				クラス	Nクラス
担当講師(フルネーム)	花生 義一				実務経験	有(鉄道業界勤務歴)
授業概要(内容)	鉄道運行に携わる各係員の概要と鉄道運行の仕組みについて学ぶ 鉄道係員の役割と責任、心構えについて学ぶ				授業形態	講義&演習
到達目標	各鉄道係員の仕事内容を身に付け、目標とする職種の重要性を身に付ける					
使用テキスト	わかりやすい鉄道技術(1、2、3)、講師作成プリント					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	1.カリキュラムの説明 2.前期の復習 3.鉄道係員の役目及び仕事内容の復習を行い、各係員の作業把握を行う				
2回	鉄道乗務員①	1.乗務員の放送一般 2.乗務員のお客さまに対する案内放送の意義と相対的な放送内容の習得を行い実施する 3.各場面でのお客さま対応能力を身に付け、基本的な放送を身に付ける				
3回	鉄道乗務員②	1乗務員の基本動作を学ぶ ・到着から発車までの基本動作の実施 ・車掌と運転士のやり取りを実戦形式で学ぶ				
4回	鉄道乗務員③	1乗務員の基本動作を学ぶ ・到着から発車までの基本動作の実施 ・車掌と運転士のやり取りを実戦形式で学ぶ				
5回	鉄道運行に関わる係員	1司令について学ぶ ・各指令の種類と役割を学び、指令の重要性を知る ・鉄道運行の安全確保に対しいかに指令の役割が生かされているかを学ぶ				
6回	鉄道ダイヤに関わる係員①	1ダイヤグラム作成に関わる係員を学ぶ ・鉄道ダイヤ作成時の注意点(お客さまの利用しやすいダイヤ)とダイヤグラムの関係を学び、時刻表がどのような工程で出来上がるかを学ぶ				
7回	鉄道ダイヤに関わる係員②	1ダイヤグラム作成に関わる係員を学ぶ ・ダイヤグラムの見方を学び、実際にダイヤグラムの作成を行い、ダイヤの知識を深める ・各駅のダイヤがどのように構成れるかを学び、駅作業の重要性を学ぶ				
8回	事故事例研究①	1コンプライアンスに関わる事例 ・過去の鉄道事故事例を基に、事故内容と乗務員の取り扱いを把握する(世間に与えた影響等を学ぶ) ・省令変更はこうして行われた意味を把握する(規定改正及び事故対策等を学ぶ)				
9回	事故事例研究②	1信号に関わる事例 ・過去の鉄道事故事例を基に、事故内容と乗務員の取り扱いを把握する(世間に与えた影響等を学ぶ) ・省令変更はこうして行われた意味を把握する(規定改正及び事故対策等を学ぶ)				
10回	事故事例研究③	1ATSに関わる事例 ・過去の鉄道事故事例を基に、事故内容と乗務員の取り扱いを把握する(世間に与えた影響等を学ぶ) ・省令変更はこうして行われた意味を把握する(規定改正及び事故対策等を学ぶ)				
11回	事故事例研究④	1停車に関わる事例 ・過去の鉄道事故事例を基に、事故内容と乗務員の取り扱いを把握する(世間に与えた影響等を学ぶ) ・省令変更はこうして行われた意味を把握する(規定改正及び事故対策等を学ぶ)				
12回	鉄道運行に関わる係員	1.司令について学ぶ ・各指令の種類と役割を学び、指令の重要性を知る ・鉄道運行の安全確保に対しいかに指令の役割が生かされているかを学ぶ				
13回	期末試験対策	1.知悉度調査を実施する ・知湿度調査を行うことにより理解度を確認する ・理解度の状態を把握し、解説を再度行い、習熟度の向上を図る				
14回	期末試験	1.期末試験 ・理解度の確認及び全体評価				
15回	まとめ	1. 総まとめ、全体質疑 2. 期末試験に対するフィードバック				

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	鉄道科	
科目名	鉄道車両				クラス	Nクラス
担当講師(フルネーム)	花生 義一				実務経験	有(鉄道業界勤務歴)
授業概要(内容)	鉄道車両の種類について学ぶ 電車と気動車の仕組みと違いを学ぶ				授業形態	講義&演習
到達目標	各鉄道係員の仕事内容を身に付け、目標とする職種の重要性を身に付ける					
使用テキスト	わかりやすい鉄道技術(1、2、3)、講師作成プリント					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	1.カリキュラムの説明 2.鉄道車両の歴史説明				
2回	電車と気動車の相違点①	1.電車と気動車の利点と欠点 2.鉄道業界におけるの車両普及内容 3.運転内容説明				
3回	電車と気動車の相違点②	1.国家試験の相違点 ・学習内容の違い ・車両形式の確認方を学ぶ				
4回	電車の運行条件	1.電車線路について ・起電方式の種類と条件について学ぶ ・直流起電と交流起電の違いと内容について学び、車両の条件を知る				
5回	気動車の運行条件	1.気動車の運行条件を学ぶ ・エンジンのストローク ・線区別車両について学ぶ				
6回	電車の機器一覧	1.集電装置について学ぶ ・起電方式の違いによる集電装置の役割を学ぶ ・集電装置の種類について学び、鉄道会社の車両を学ぶ				
7回	気動車の機器一覧	1.車両形式について ・地域別形式についての機器配置を学ぶ ・エンジンを正常に起動させる重要機器について学ぶ				
8回	電車の機器一覧	1.集電システムを学ぶ ・架線集電システムの各機器配置 ・架線集電システムの各機器の役割を学ぶ				
9回	気動車の機器一覧	1.床下機器配置 ・形式別機器配置と役割を学ぶ				
10回	電車の列車記号	1.電車の列車記号を知る ・記号の選別による運転取扱いを学ぶ ・換算係数を学び車両の種別を知る				
11回	気動車の列車記号	1.電車の列車記号を知る ・記号の選別による運転取扱いを学ぶ ・換算係数を学び車両の種別を知る				
12回	電車・気動車の台車について	1.電車の台車概要を学ぶ ・モーターと台車の因果関係を学び、安全を守る条件を知る ・台車の種類を学び、車両形式に合った台車の役割を学ぶ				
13回	期末試験対策	1.知悉度調査を実施する ・知湿度調査を行うことにより理解度を確認する ・理解度の状態を把握し、解説を再度行い、習熟度の向上を図る				
14回	期末試験	1.期末試験 ・理解度の確認及び全体評価				
15回	まとめ	1. 総まとめ、全体質疑 2. 期末試験に対するフィードバック				

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	鉄道科	
科目名	鉄道駅実務				クラス	N
担当講師(フルネーム)	西 政明(マック24)				実務経験	有(鉄道業界勤務歴)
授業概要(内容)	鉄道業界の基本知識、業界動向及び経営概況を学ぶ。 鉄道業務の仕組み、役割等を理解し、基本知識・スキルを習得する。				授業形態	講義&演習
到達目標	運輸業、特に鉄道関連に従事するための基本的資質の育成・向上を図る。					
使用テキスト	なし					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	1 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	シラバスの概要、講義の進め方等の説明 日本鉄道の概況、鉄道専門用語・略号等の鉄道一般常識の確認 交通関連トピックス解説				
2回	鉄道経営の概況	JRグループの概況とビジネスモデル 交通関連トピックス コミュニケーションワーク				
3回	"	主要民鉄の経営概況とビジネスモデル 交通関連トピックス解説 コミュニケーションワーク				
4回	"	主要民鉄の経営概況とビジネスモデル 交通関連トピックス解説 コミュニケーションワーク				
5回	鉄道事業の運営	鉄道会社の組織・業務運営体制(営業・運輸) 交通関連トピックス解説 コミュニケーションワーク				
6回	"	鉄道会社の組織・業務運営体制(施設・電気・新幹線) 交通関連トピックス解説 コミュニケーションワーク				
7回	鉄道駅の役割・機能	交通サービスの生産要素と鉄道駅の役割・機能 交通関連トピックス解説 コミュニケーションワーク				
8回	今後の鉄道駅の役割	今後の役割と方向性 交通関連トピックス解説 コミュニケーションワーク				
9回	鉄道駅業務の概要	業務運営体制と部門別業務概要 交通関連トピックス解説 コミュニケーションワーク				
10回	"	付帯業務の概要及び安全・地球環境保全等への取り組み 交通関連トピックス解説 コミュニケーションワーク				
11回	鉄道駅運営の実態	JR博多駅見学				
12回	鉄道駅社員のキャリアパス	社員採用の形態と基準・運用等 交通関連トピックス解説				
13回	社会人・組織人の基礎知識	運輸業に従事するための基礎知識(関連法・規範・ルール等) 交通関連トピックス解説 期末試験対策				
14回	鉄道駅運営の課題	鉄道駅の運営体制の変遷と今後の課題 期末試験				
15回	まとめ	期末試験の講評 これまでの振り返りと要点整理				

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	鉄道科	
科目名	鉄道旅行プランニング				クラス	Nクラス
担当講師(フルネーム)	花生 義一				実務経験	有(鉄道業界勤務歴)
授業概要(内容)	時刻表を用いてのプランニング作業 運賃料金及び宿泊先を考えたプラン作成				授業形態	講義&演習
到達目標	時刻表の確実な活用方を身に付ける					
使用テキスト	時刻表、講師作成資料					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	1.カリキュラムの説明 2.今後のプラン内容を説明				
2回	旅行プランニング①	1.JR時刻表を使った鉄道旅行作成 ・お客さまの意向にあったプランニング作業を行う(窓口練習) ・見積書作成時に必要な事項を学び、実施作業を行う				
3回	旅行プランニング②	1.JR時刻表を使った鉄道旅行作成 ・お客さまの意向にあったプランニング作業を行う(窓口練習) ・お客さまの予算に似合ったプランニング作業を行う				
4回	旅行プランニング③	1.JR時刻表を使った定期観光バス旅行作成 ・駅業務の中で行う観光各地の旅をお客さまに提供するためのプランニング作業をグループで行う				
5回	旅行プランニング④	1.JR時刻表を使った定期観光バス旅行作成 ・駅業務の中で行う観光各地の旅をお客さまに提供するためのプランニング作業をグループで行う				
6回	旅行プランニング⑤	1.JR時刻表を使った船舶旅行作成 ・駅業務の中で行う観光各地の旅をお客さまに提供するためのプランニング作業をグループで行う				
7回	旅行プランニング⑥	1.JR時刻表を使った船舶旅行作成 ・駅業務の中で行う観光各地の旅をお客さまに提供するためのプランニング作業をグループで行う				
8回	旅行プランニング⑦	1.JR時刻表を使った航空旅行作成 ・駅業務の中で行う観光各地の旅をお客さまに提供するためのプランニング作業をグループで行う				
9回	旅行プランニング⑧	1.JR時刻表を使った航空旅行作成 ・駅業務の中で行う観光各地の旅をお客さまに提供するためのプランニング作業をグループで行う				
10回	旅行プランニング⑨	1.JR時刻表を使った総合的な旅行プラン作成 ・各班ごとに、行先行程を作成し、計画表を作成する ・宿泊所に対する考え方の練習を行う				
11回	旅行プランニング⑩	1.JR時刻表を使った総合的な旅行プラン作成 ・各班ごとに、行先行程を作成し、計画表を作成する ・宿泊所に対する考え方の練習を行う				
12回	時刻表の活用	1.時刻表の活用術を発表する ・各自、時刻表に対する確認方を発表し、実力不足を解消する 2.習熟度調査を行う				
13回	期末試験対策	1.知悉度調査を実施する ・知湿度調査を行うことにより理解度を確認する ・理解度の状態を把握し、解説を再度行い、習熟度の向上を図る				
14回	期末試験	1.期末試験 ・理解度の確認及び全体評価				
15回	まとめ	1. 総まとめ、全体質疑 2. 期末試験に対するフィードバック				

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	鉄道科	
科目名	鉄道業界研究				クラス	N
担当講師(フルネーム)	三石 佳代子				実務経験	有(鉄道業界勤務歴)
授業概要(内容)	鉄道業界への就職を目標とし、JR・大手私鉄を中心とした業界研究を行う。				授業形態	講義
到達目標	各鉄道会社の実態と経営戦略、企業理念を学び、志望動機に活かす。					
使用テキスト	鉄道業界 就職ガイドブック2026					
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 平常点＋小テストで50%、期末テストで50%				単位数	2
期末試験	1 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション 企業研究のやり方	企業研究のやり方が深いほど志望動機に具体性が出る 企業研究シートと使用した方法を学ぶ				
2回	西鉄について	実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に合う人物像を考える				
3回	JR九州グループ について	実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に合う人物像を考える				
4回	JR四国について	実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に合う人物像を考える				
5回	JR東海・JR北海道 について	実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に合う人物像を考える				
6回	JR西日本	実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に合う人物像を考える				
7回	JR東日本	実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に合う人物像を考える				
8回	東京メトロについて	実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に合う人物像を考える 小テスト1				
9回	東急、東武、西武	実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に合う人物像を考える				
10回	京急、京王、京成	実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に合う人物像を考える				
11回	小田急、相鉄、名鉄	実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に合う人物像を考える				
12回	阪急(阪神)、 大阪メトロについて	実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に合う人物像を考える 小テスト2				
13回	近鉄、京阪、南海	実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に合う人物像を考える				
14回	第三セクター、 地下鉄、その他鉄道	第3セクターや地方鉄道、公営鉄道など、JR・大手私鉄以外にIBCに過去求人を出した実績のある会社を 求人が来たら応募できる準備をする				
15回	期末テスト 一年間のまとめ	期末テスト これまでの鉄道業界研究を総復習し、就職試験に活かす				

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	鉄道科	
科目名	サービス介助士				クラス	N
担当講師(フルネーム)	吉田紀子/守田久実子/高田訓代/城下博美/大隈多恵				実務経験	無
授業概要(内容)	障害の社会モデルの考えや心のバリアフリーについての理解を深め、おもてなしの心と正しい介助技術を学ぶ				授業形態	講義
到達目標	おもてなしの心と正しい介助技術を学び、授業後のサービス介助士資格取得を目指す					
使用テキスト	サービス介助士・准サービス介助士資格取得講座テキスト					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	1 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	・オリエンテーション ・多様な社会を考える ・共生社会の実現をめざして ・SDGsを考える	・教材受け渡し 受講票確認 自己紹介 ・「サービス介助士」を学ぶ意義 これからの社会を考える 多様性(ダイバーシティ)を受け入れる必要性 ・企業が取り組むSDGsについて サービス介助士との繋がりは				
2回	・基本理念 ・接遇の捉え方 ・ホスピタリティ	・サービス介助士の基本理念 サービス介助士の接遇の概念 ・ホスピタリティとは				
3回	・ノーマライゼーション	・ノーマライゼーションの基本的な考え方				
4回	・障害者差別解消法 ・障害の捉え方(社会モデル)	・障害者差別解消法を理解する ・社会モデルの捉え方を理解、合理的配慮につなげる				
5回	・高齢社会の理解	・高齢者社会の現状を知る				
6回	・高齢者への理解と接遇	・加齢による身体変化を知り、合理的配慮を考える				
7回	・ジェロントロジー	・「創齡学」自分の人生を考える				
8回	・車いす使用者への接遇	・車いす使用者の障壁を考える ・車いすの種類、部分の名称、操作の注意点				
9回	・聴覚障害者への接遇	・聴覚障害について ・聴覚障害者の困りごと、原因を考える				
10回	・視覚障害者への接遇	・視覚障害について ・視覚障害者の困りごと、原因を考える				
11回	・円滑なコミュニケーション(接遇)	・言語による接遇 ・外見や行動による接遇				
12回	・知的・発達・精神障害者への接遇	・知的障害、発達障害、精神障害の概要 ・困りごとを考える				
13回	・身体障害者補助犬	・身体障害者補助犬法を知る				
14回	・ユニバーサルデザイン ・いろいろなマーク ・バリアフリー設備の理解	・身近なユニバーサルデザインを知ろう ・日常よく見かけるマークや気をつけて見ていただきたいマーク ・必要性を理解する(オストメイト用設備、カムダウンルーム、バギー型小児用車いす)				
15回	・期末試験	・授業内での期末試験 範囲:今まで学んだ部分 ・実技教習について説明				

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	鉄道科		
科目名	就職活動講座				クラス	N	
担当講師(フルネーム)	三石 佳代子				実務経験	有(鉄道業界勤務歴)	
授業概要(内容)	専門学校に在学し、鉄道を学んでいるという特異性を理解し、 鉄道業界に特化した就職活動を行える力を養成する。				授業形態	講義&演習	
到達目標	一学年終了時には自信をもって自分の強みを相手に伝えることができるような人物となることを目指す。						
使用テキスト	就職ノート・専門学校生のための就職内定基本テキスト						
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 提出物・忘れ物・授業態度・就職活動に対する熱意・小テストにより総合的に評価を行う					単位数	2
期末試験	2 期末試験なし						
	テーマ		授業内容				
1回	オリエンテーション		夏休みの振り返り 後期説明 夏休みの活動から自分の成長を振り返る				
2回	ナビサイト登録		リクナビ・マイナビに登録する インターネットでの企業の検索法 ナビサイトの便利ツールを就活に活かす				
3回	求人情報の収集方法		情報の収集方法と活用 求人票の見方 就職室の利用方法、IBC就活ルールの再確認				
4回	履歴書作成		就職活動に活用するIBCの履歴書を作成する				
5回	模擬面接用 エントリーシート		模擬面接用エントリーシートの書き方を説明し作成する				
6回	履歴書・模擬面接用 エントリーシートのまとめ		履歴書・模擬面接用エントリーシートの指導				
7回	自己PR作成①		IBCに入学して学んだこと、できるようになったこと、成長したと感ずることを分析する				
8回	自己PR作成②		IBCに入学して成長したことを認識し、前期作成した自己PRからレベルアップして完成させる				
9回	志望動機作成 (志望企業編)		前期作成した鉄道業界に対する志望動機に、 志望企業の要素をプラスして完成させる				
10回	志望動機作成 (実習編)		第9回で作成した志望企業や鉄道業界に対する志望動機に、 実習に対する心構え、学びたいことなどをプラスして完成させる				
11回	学生時代に頑張ったこと のエピソード作成		夏休みの宿題「学生時代に頑張ったこと」のエピソードを手直しし、 また後期に入って取り組んだことをまとめて、IBCに入学後の学生時代頑張ったことを完成させる				
12回	面接応答内容を考える①		過去に試験で出た質問に対してどう答えるか考える				
13回	面接応答内容を考える②		過去に試験で出た質問に対してどう答えるか考える				
14回	エントリーシート作成		志望企業の過去のエントリーシートを参考にして、 エントリーシートの作成手順を確認する そして、実際のエントリーが始まったら、すぐにエントリーシートを作成できる力を養う				
15回	後期の振り返り		一年間の就職活動講座の振り返りとまとめ 実習の注意点 春休みの就職活動について				

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	鉄道科	
科目名	就職筆記対策 I				クラス	N
担当講師(フルネーム)	前田 恭子				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	就職試験における筆記試験の言語系分野の対策授業				授業形態	講義
到達目標	就職筆記試験の点数を確実に取るために基礎学力の向上を目指し、応用力を養う					
使用テキスト	「一般常識と時事問題をひとつひとつわかりやすく」Gakken					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	1 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	日本の特産物(1)	夏休み課題提出 日本地理① 日本各地の産物を学び、産地との組み合わせを覚える SPI言語: 同意語(意味や内容が近い語)				
2回	日本の特産物(2)	四字熟語テスト① 夏休み課題を6回に分けて小テストを行なう 日本地理② 産地・産物の練習問題を解き、理解を深める SPI言語: 反意語(意味や内容が反対の語)				
3回	世界の特産物(1)	四字熟語テスト② 世界地理① 世界各地の産物を学び、産地との組み合わせを覚える SPI言語: ことばの意味①(語句の意味が正しいもの)				
4回	世界の特産物(2)	四字熟語テスト③ 世界地理② 産地・産物の練習問題を解き、理解を深める SPI言語: ことばの意味②(意味に適合する語句)				
5回	日本史(1)	四字熟語テスト④ 日本史① 人物に焦点をあてて歴史上の出来事を整理する SPI言語: 複数の意味(意味や用法が近いもの)				
6回	日本史(2)	四字熟語テスト⑤ 日本史② 人物に焦点をあてて歴史上の出来事を理解する SPI言語: 原料(加工物とその原料)				
7回	世界史	四字熟語テスト⑥ 世界史: 人物に焦点をあてて歴史上の出来事を理解する SPI言語: 包含・用途・機能関係				
8回	日本文化史	時代ごとの文化・芸術を整理し、理解する SPI言語: 行為関係				
9回	名言・名句	思想史: 思想家の名言・名句・著書を学ぶ SPI言語: ことわざ・慣用句				
10回	発明・発見	世界の発明・発見家を学ぶ SPI言語: 熟語の成り立ち				
11回	文学史	主な文学作品とその著者を学ぶ SPI言語: 文の並べ換え				
12回	労働・社会保障	日本の労働・社会保障のしくみについて学ぶ SPI言語: 空欄補充(適文・適語)				
13回	環境問題	日地球の環境問題について学ぶ SPI言語: 空欄補充(三文完成)				
14回	後期のまとめ	後期の授業で学んだ内容を復習して期末試験に備える				
15回	期末試験	期末試験を実施し、知識の定着をはかる				

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	鉄道科 夜間総合観光科	
科目名	就職筆記対策Ⅱ				クラス	N Y
担当講師(フルネーム)	北村正雄				実務経験	無
授業概要(内容)	新型コロナウイルス後の形式はWeb試験がメイン。WebとPaperは内容がかなり異なります。鉄道各社ホテル 旅行会社の過去問を中心にできるだけわかりやすく講義します。この科目は復習に力を入れてください。SPIなどの試験に合格しないと面接に進めません。能力検査試験の合格に向けて一緒に頑張りましょう				授業形態	講義
到達目標	JR各社 西日本鉄道その他の私鉄 ホテル エアライン系企業の就職試験に合格するのに必要な非言語分野の学力の修得					
使用テキスト	なし					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	1 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	損益算の復習	損益算の基本公式の確認 原価 定価 売価 を求める公式 原価も定価も売価も不明の時 総原価 総利益 総定価 を求める問題 各コースの企業の過去問を中心に応用問題にチャレンジ				
2回	順列	数学Bプリント全体の数nの中からr個を取り出して並べるときの並べ方 nPr 順列公式 $P = \frac{n!}{(n-r)!}$ Permutation 重複順列 n^r 円順列 $(n-1)!$ 数珠順列 $(n-1)! \div 2$ 基本問題集B				
3回	組み合わせ	全体の数nの中からr個を選ぶ時の選び方 nCr $C = \frac{n!}{r!(n-r)!}$ (階乗) 重複組み合わせの公式 $hCr = n + r - 1Cr$ 基本問題集B				
4回	集合	集合分野はSPIでは極めて重要な分野です。ほとんどの企業で出題が予想されます。 集合はカブリのことで。ベン図 オイラー図 の理解がポイントです。 集合では独特の日本語の理解が必要です。少なくとも意味				
5回	集合	集合分野はSPIでは極めて重要な分野です。ほとんどの企業で出題が予想されます。 集合はカブリのことで。ベン図 オイラー図 の理解がポイントです。 集合では独特の日本語の理解が必要です。少なくとも意味				
6回	推論	基本問題集Bプリント p194～p222 推論 順位 平均点 フローチャート				
7回	位置 順列	基本問題集Cプリント p172～194 位置の問題 順列 重複順列 問題文の条件を推理して各店の位置を特定する。				
8回	勝敗	基本問題集Cプリント p172～p194 勝敗 リーグ形式とトーナメント形式				
9回	確率	基本問題集Dプリント p172～p194 サイコロ コインを使った確率問題 $p(\text{probability}) = N(\text{全体的場合の数}) \div a(\text{求める場合の数})$				
10回	SPIテストセンター過去問	推論 集合 順列 組み合わせの過去問 問1～問12 推論 6個の玉を箱PQIに分けて入れた PはQの2倍 Qの玉は何個か 9人にイヌ ネコ 小鳥どれを飼いたいかわかった 多い順にイヌ ネコ 小鳥 無回答無し 小鳥の回答人数は				
11回	SPIテストセンター過去問	推論 集合 順列 組み合わせの過去問 問13～問25 集合 クラスの30人のうち、運動部の生徒16人 運動部と文化部の両方2人 どちらにも入っていない生徒は4人 文化部に入っている生徒は何人?				
12回	SPIテストセンター過去問	推論 集合 順列 組み合わせの過去問 問26～問38 組み合わせ PQRSTUVの7人を3人部屋と4人部屋に振り分けたい 分け方は何通り? 確率PQR3人がサイコロを振った Pが最大の目 QとRが同じ目となる組み合わせは何通り?				
13回	SPIテストセンターAプリント	推論 問1～問8 RSTU 4人の交通費の問題 4店舗の位置の問題 LMNOPQ 6人の待ち合わせ場所の到着の前後関係 嘘・本当の発言問題 トーナメント方式の勝敗の結果 トーナメント表の作成				
14回	後期試験実施	試験終了後 テストセンターの過去問				
15回	後期試験解答解説	解答に至る筋道 論理なぜそうなるのか 構造的把握力検査の内容 2年次に使用するプリントの配布				

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	鉄道科	
科目名	面接対策講座				クラス	N
担当講師(フルネーム)	橋本美智子				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	面接試験において「好印象」を勝ち取るための表現力を実技にて体得する				授業形態	実技
到達目標	就職試験にて合格することを目標に、社会人として相応しいマナーを身に付ける					
使用テキスト	プリント 制服着用					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	1 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	就職試験に向けて	授業の進め方についての説明 受講の心構え(身だしなみ、お辞儀) 面接意義、その種類と特質について理解する				
2回	求められる人材について	企業に「求められる人材」についてワークを通じて理解する ビジネスマンとして求められる能力の説明				
3回	面接	面接での表現とは 正しい姿勢、歩き方、椅子の座り方、発声、相手に届く声① 自己紹介				
4回	集団面接	入退室 正しい姿勢、歩き方、椅子の座り方、発声、相手に届く声② 実技4～5名				
5回	集団面接	入退室 話す、聞く、答える③ 実技4～5名				
6回	集団面接	入退室 話す、聞く、答える④ 実技4～5名				
7回	集団面接	好印象の質疑応答⑤ 実技4～5名				
8回	集団面接	好印象の質疑応答⑥ 実技4～5名				
9回	集団討議1	討議の進め方の説明				
10回	集団討議2	身近な問題をテーマに討議の実践				
11回	集団討議3	日本の掲げる問題をテーマに討議の実践				
12回	集団討議4	SDGSに関係するテーマを選び討議の実践				
13回	期中試験	集団面接形式				
14回	期中試験	集団討議形式				
15回	まとめ	第1回～12回の振り返り 自分の課題を明確にし後期の目標にする				

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	エアライン・ITビジネス・鉄道・国際ビジネス・夜間総合観光		
科目名	ビジネスマナー				クラス	QHNDY	
担当講師(フルネーム)	田中 友加利 池田 香織				実務経験	有(ホテル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	・社会人になるための心構え、また専門学校での過ごし方を学ぶ。 ・社会の仕組みの理解と社会人としてのビジネスマナーを習得する。				授業形態	講義	
到達目標	ビジネス能力検定ジョブパス3級合格を目指す。(12/7(日)受験)						
使用テキスト	ビジネス能力検定3級テキスト2025年度版						
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2
期末試験	1 授業中に実施						
	テーマ		授業内容				
1回	過去問題		後期授業の進め方について 過去問題を解き、問題に慣れ出題傾向を知る。				
2回	過去問題		過去問題を解き、問題に慣れ出題傾向を知る。				
3回	過去問題		過去問題を解き、問題に慣れ出題傾向を知る。				
4回	過去問題		過去問題を解き、問題に慣れ出題傾向を知る。				
5回	過去問題		過去問題を解き、問題に慣れ出題傾向を知る。				
6回	過去問題		過去問題を解き、問題に慣れ出題傾向を知る。				
7回	過去問題		過去問題を解き、問題に慣れ出題傾向を知る。				
8回	過去問題		過去問題を解き、問題に慣れ出題傾向を知る。				
9回	過去問題		過去問題を解き、問題に慣れ出題傾向を知る。				
10回	過去問題		過去問題を解き、問題に慣れ出題傾向を知る。				
11回	過去問題		過去問題を解き、問題に慣れ出題傾向を知る。				
12回	自己採点		12/7(日)試験の自己採点をする				
13回	社会人としての心構え		ビジネスマナー他 社会の仕組みの理解と社会人としてのビジネスマナーを習得する。				
14回	社会人としての心構え		ビジネスマナー他 社会の仕組みの理解と社会人としてのビジネスマナーを習得する。				
15回	期末試験		期末試験				

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	鉄道科	
科目名	ペン字				クラス	1年Nクラス
担当講師(フルネーム)	しんがき佐世				実務経験	無
授業概要(内容)	社会人としてふさわしい文字の書き方を習得し、相手に好印象を与える文字を書けるようになる。手書き文字を通して、お客様や他者を敬う精神(マインド)と実力(技術)を身につける。				授業形態	講義
到達目標	常用漢字書き方字典/宮澤 正明 編/ニ玄社□					
使用テキスト	提出物70% 授業態度30%□					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	1 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	15回で目指すゴールを共有し、生徒それぞれの目標を明確化する(履歴書、自己PR文など) BeforeとAfterで成長を実感するため、Beforeの筆記で現状把握する 文字で自己紹介				
2回	ひらがなの基本	ひらがなの特徴を捉えて、バランスの取れた美しいひらがなを書く 字は体を表す: なりたい自分や在りたい自分を言語化し、文字にする なりたい自分(ひらがな)リスト				
3回	カタカナの基本	カタカナの特徴を捉えて、バランスの取れた美しいカタカナを書く 字形の整え方、部首名、カタカナのバランスの取り方 なりたい自分(カタカナ)リスト				
4回	漢字(楷書)の基本	漢字の特徴を捉えて、バランスの取れた美しい漢字を書く 字形の整え方、部首名、ひらがなやカタカナと漢字のバランスをとる 四字熟語を書く: 履歴書や自己PRに使える				
5回	タテ書きの基本	タテ書きの特徴を捉えて、適正な姿勢でバランスの取れたタテ書きの基本を押さえる 自分の名前の漢字バランスを捉えて練習する 座右の銘を書く: 履歴書や自己PRにも使える				
6回	ヨコ書きの基本	ヨコ書きの特徴を捉えて、適正な姿勢でバランスの取れたヨコ書きの基本を押さえる 自己肯定感を上げる(コーピング)リスト、下げるリストをヨコ書きする コーピングリストを書く				
7回	筆ペンの基本(1)	筆ペンの基本を知り、適正な姿勢で楷書体を書き練習する 自分の氏名を美しく書く、「様」の練習(打ち込み45度、止め、はねの角度) 座右の銘を書く: 筆ペンに慣れる				
8回	(実践)はがき・手紙を書く	はがき、封筒、それぞれの書式を学習する 手紙文の書き方を学習する 実践: 手紙本文を書く				
9回	(実践)履歴書を書く(1)	履歴書の目的を知り、書式を学習する 氏名、住所をバランスよく書く ※学校指定の履歴書用紙を使用				
10回	(実践)履歴書を書く(2)	字の美しさに加え、自分の良さが伝わる履歴書の書き方を学習する 学歴、資格欄をバランスよく書く				
11回	(実践)履歴書を書く(3)	字の美しさに加え、自分の良さが伝わる履歴書の書き方を学習する アラビア数字、アルファベットを丁寧に書く 自己PR、打ち込んできたことなどフリースペース欄に書く				
12回	(実践)送付状を書く	送付状の目的を知り、書式を学習する 実践: 履歴書の送付状を書く 古典名言を書く: 自己肯定感を上げる				
13回	(実践)お礼状を書く	お礼状の目的を知り、書式を学習する 実践: 実習先へのお礼状を書く				
14回	(復習)ペン字/筆ペン(2)	タテ書き・ヨコ書きの書き方を復習する ビジネスでよく使うひらがな・カタカナを練習する 自己PR: 座右の銘を筆ペンで書く				
15回	まとめ	手書きのポイントのおさらい、履歴書の鉄則 BeforeとAfterの提出物で成長を確認する これまでの文字練習にポジティブなフィードバックを文字で書いて行う				

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	ホテル・ブライダル・エアライン・ 鉄道・国際ビジネス・夜間総合観光科	
科目名	TOEIC I				クラス	EQNDY①
担当講師(フルネーム)	挽田雅子				実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	TOEICの試験形式に慣れ、聴解力、語彙力、読解力の強化をめざす。 TOEIC頻出の文法事項を理解する。				授業形態	講義
到達目標	TOEIC試験で目標スコアを獲得する					
使用テキスト	公式TOEIC LISTENING & READING 問題集11					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	1 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	Part1	授業の進め方、評価方法の説明 写真をチェックする 人物、風景と物、乗り物についての表現				
2回	Part2(2)	Yes/No疑問文 付加疑問文 平叙文				
3回	Part3(2)	設問を先に読む 設問の意味を単純化する 選択肢を読む				
4回	Part4(1)	Part4の攻略の基本を学ぶ 設問の順番に沿ってヒントを聞き取る 会議の抜粋やスピーチを聞く				
5回	Part5(1)	Part5の攻略の基本を学ぶ 品詞問題 名詞・動詞・形容詞・副詞				
6回	Part5(4)	関係代名詞 先行詞が人か物かをチェックする 主格・目的格・所有格の判別				
7回	Part5(6)	準動詞の形と役割を理解する 不定詞・動名詞の練習問題 分詞の形と用法を理解する				
8回	Part7(1)	Part7の攻略の基本を学ぶ 短い文章から取り組む 広告・Eメールを読む				
9回	模試	リスニング模試 Part1/Part2/Part3/Part4 答え合わせと解説				
10回	模試解説	リーディング 文法解説 読解解説				
11回	Part7(2)	ウェブページ、用紙を読む 文脈を意識して読む 練習問題				
12回	Part7(4)	Eメール、記事を読む 頻出語彙 練習問題				
13回	Part7(5)	ダブルパッセージ 2文書参照問題の解き方 記事とEメール				
14回	期末試験対策	語彙問題 文法問題 読解問題				
15回	TOEIC S&W	TOEIC S&Wテストの案内 スピーキング ライティング				

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	ホテル・ブライダル・エアライン・ 鉄道・国際ビジネス・夜間総合観光科	
科目名	TOEIC II				クラス	EQNDY①
担当講師(フルネーム)	挽田雅子				実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	TOEICの試験形式に慣れ、聴解力、語彙力、読解力の強化をめざす。 TOEIC頻出の文法事項を理解する。				授業形態	講義
到達目標	TOEIC試験で目標スコアを獲得する					
使用テキスト	公式TOEIC LISTENING & READING 問題集11					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	1 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	Part2(1)	Part2の攻略の基本を学ぶ WH疑問文を聞きとる キーワードをとらえる				
2回	Part2(3)	「許可」「依頼」「提案」の応答の典型を覚える 音のひっかけに注意する 練習問題				
3回	Part3(1)	Part3の攻略 音のひっかけに注意する 練習問題				
4回	Part3(3)	設問を先に読む 図・イラスト問題を攻略する 選択肢を読む				
5回	Part4(2)	場所を問う問題 職業を問う問題 次の行動を問う問題				
6回	Part5(2)	品詞問題 発展編 文脈から適切な意味の語を選ぶ 複合名詞				
7回	Part5(3)	動詞の形と役割 時制 態				
8回	Part5(5)	代名詞・限定詞 適切な格を判断する 可算名詞・不可算名詞				
9回	Part6	Part6の攻略の基本を学ぶ 設問を分類する 文法・語彙問題を解く				
10回	模試	リーディング Part5/Part6/Part7 答え合わせ				
11回	IPテスト対策	リスニング対策 リーディング対策 頻出語彙				
12回	Part7(3)	テキストメッセージ 意図問題の解き方 パンフレット				
13回	Part7(6)	トリプルパッセージ 議題・お知らせ・テキストメッセージ 報告書・Eメール・広告				
14回	期末試験(予定)	Part5/Part6/Part7 単語プリント				
15回	まとめと復習	期末試験のフィードバック 文法・語彙問題 読解問題				

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	ホテル・ブライダル、エアライン、鉄道、国際ビジネス、夜間総合観光科		
科目名	英検対策Ⅰ＆Ⅱ				クラス	EQNDY	
担当講師(フルネーム)	平島千華、日高郁子、脇谷奈々、猪口明日香、加藤亜希				実務経験	有(通訳翻訳業界勤務歴)	
授業概要(内容)	英検各級の語彙、文法についての解説等 注:各クラスで取得目標級が異なる為、授業内容や進度はそれぞれ異なる。				授業形態	講義	
到達目標	英検2025年度に合格できる力をつける。						
使用テキスト	2025年度版 英検過去6回全問題集(旺文社)						
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2
期末試験	1 授業中に実施						
	テーマ		授業内容				
1回	過去問題①		語彙問題 会話問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。				
2回	過去問題①		長文問題、語彙を学ぶとともに英文の基本構成を学ぶ。 作文指導(取得目標級により異なる) 文型、熟語の習得及び作文指導に於いては、自己の意見を表現できるようにする。				
3回	過去問題①		リスニング問題 英作文指導 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。				
4回	過去問題①		語彙問題 会話問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。				
5回	本試験		本試験の自己採点及び解説 自身の弱点研究 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。				
6回	二次試験対策		語彙問題 会話問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。				
7回	二次試験対策		長文問題 語彙を学ぶとともに英文の基本構成を学ぶ。 文型、熟語の習得及び作文指導に於いては、自己の意見を表現できるようにする。				
8回	過去問題②		語彙問題 会話問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。				
9回	過去問題②		長文問題 語彙を学ぶとともに英文の基本構成を学ぶ。 文型、熟語の習得及び作文指導に於いては、自己の意見を表現できるようにする。				
10回	過去問題②		リスニング問題 英作文問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。				
11回	過去問題②		語彙問題 会話問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。				
12回	過去問題③		長文問題 語彙を学ぶとともに英文の基本構成を学ぶ。 文型、熟語の習得及び作文指導に於いては、自己の意見を表現できるようにする。				
13回	過去問題③		リスニング問題 英作文問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。				
14回	期末試験対策		長文読解 英作文問題 リスニング問題				
15回	期末試験		前期授業総括 期末試験解説 前期総復習				

対象学年	1・2年共通	学期	通年(後期)	学科	エアライン・ホテル・ブライダル・鉄道・夜間総合観光科		
科目名	韓国語				クラス	N・Q・A・A3・選択Z	
担当講師(フルネーム)	権京愛				実務経験	無	
授業概要(内容)	教科書主体に文法を確実に身に付けさせ、毎回の授業には必ず演習を取り入れ、「読む、聞く、話す、書く」の4技能をまんべんなく学ばせる。				授業形態	講義＆演習	
到達目標	将来仕事で活用できるように会話練習を通してコミュニケーション能力を身につけさせることを目標とする。						
使用テキスト	韓国語の世界へ「入門編」(朝日出版)						
成績評価方法	・期末テスト50% 平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2
期末試験	1 授業中に実施						
	テーマ	授業内容					
1回	前期の復習	既習のハングル文字の母音、子音、パッチムの仕組みをもう一度お復しする。 発音と読み書きの復習をする。 会話の練習をする。					
2回	漢数字と助数詞	何年、何月、何日、何分、何個など漢数字とともに使われる助数詞を覚える。 発音と読み書きの復習をする。 助数詞を使って会話の練習をする。					
3回	位置表現(場所を尋ねる)	絵を見ながら場所を尋ねる表現を学ぶ。 位置を表す名詞を覚え、会話練習をする。 クラスメートと待ち合わせの場所を決めるなど会話の練習をする。					
4回	へヨ体の作り方Ⅰ	うちとけた丁寧な言い方を学ぶ① 韓国語の用言の活用を学び、へヨ体に直す練習をする。 会話の練習をする。					
5回	助詞	助詞をまとめて覚える。 例文を作りながら練習して覚える。 会話の練習をする。					
6回	復習と練習問題	問題を解きながら復習をする。 会話の練習をする。					
7回	へヨ体の作り方Ⅱ	うちとけた丁寧な言い方を学ぶ② 韓国語の用言の活用を学び、へヨ体に直す練習をする。 会話の練習をする。					
8回	指示詞	指示詞を覚え、物を尋ねる表現を学ぶ。 「これはなんですか」など指示詞を使って会話練習をする。 教室にある物を利用し、名前を尋ねる会話練習をする。					
9回	復習と練習問題	問題を解きながら、復習をする。 会話の練習をする。					
10回	へヨ体の作り方Ⅲ	うちとけた丁寧な言い方を学ぶ③ 韓国語の用言の活用を学び、へヨ体に直す練習をする。 会話の練習をする。					
11回	固有数詞	固有数詞を覚える。 固有数詞とともに使われる助数詞を学ぶ。 会話練習をする。					
12回	時を表す言葉	時を尋ねる表現を学ぶ。 「誕生日はいつですか」「今日は何月何日ですか？」など会話練習をする。					
13回	復習	復習問題を解く。 自己紹介のフレーズを覚え、韓国語で自己紹介の練習をする。					
14回	期末テスト	復習 期末テスト					
15回	まとめ	期末テストのフィードバック 文化紹介					

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	ホテル、鉄道、エアライン、IT	
科目名	TOEIC(選択)				クラス	ENQH
担当講師(フルネーム)	日高 郁子				実務経験	有(通訳翻訳業界勤務歴)
授業概要(内容)	TOEICに特化した文法を基礎から復習。語彙力を高め、音読、シャドウイングなどでリスニング力を強化してスコアアップにつなげる。				授業形態	講義
到達目標	各自の目標スコアを達成する。 ※レベルに合わせるためシラバス通りに進まない場合があります。					
使用テキスト	TOEIC L&R戦略的トレーニング:レベル500 / プリントなど					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	1 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	授業の進め方について TOEICとは? TOEICミニテスト				
2回	品詞問題&Part1	品詞(名詞、形容詞、副詞)の見分け方 品詞問題の解き方 Part5				
3回	時制&Part2	時制の総復習 Part2解き方 Part5				
4回	自動詞&他動詞Part3	自動詞・他動詞の見分け方 自動詞、他動詞を見分けて問題を解く Part3 Part5				
5回	不定詞&Part3	不定詞 Part3 Part5				
6回	動名詞&Part4	動名詞 Part4 Part5				
7回	分詞の形容詞的用法 Part4	分詞の形容詞的用法 Part4 Part5				
8回	Part7	Part7(長文の解き方) Part5 単語練習				
9回	名詞・冠詞 part6	名詞・冠詞 Part6 Part5				
10回	接続詞 Part1&2	接続詞 Part1&2 Part5				
11回	関係代名詞 Part3	関係代名詞 Part3 Part5				
12回	模擬テスト (リーディング)	模擬テスト 解答				
13回	仮定法	仮定法 Part6 Part5				
14回	期末テスト	期末テスト				
15回	文法総復習	後期復習 期末返却				

対象学年	2年	学期	通年(後期)	学科	鉄道科	
科目名	鉄道概論				クラス	Mクラス
担当講師(フルネーム)	花生 義一				実務経験	有(鉄道業界勤務歴)
授業概要(内容)	ダイヤ改正に伴う注意点 乗務員勤務作成時の注意点を学び、乗務行路を作成する				授業形態	講義&演習
到達目標	ダイヤ改正とそれに伴う乗務員の配置方を学ぶ					
使用テキスト	わかりやすい鉄道技術(1、2、3)、講師作成プリント					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	1.カリキュラムの説明を行う 2.ダイヤ改正の意義と作業内容を学ぶ				
2回	駅構内ダイヤの解説	1.ダイヤ改正に伴う注意点 ・駅構内の運行内容の解説を行い、それに伴うダイヤグラムとの繋がりを知る ・車両の入換(分割、併合、入換)作業を学ぶ				
3回	運用手配実践①	1.ダイヤグラムから乗務員の行路を各自作成準備を行う 2.ダイヤグラムと乗務員時刻表及び行路表の照合を行い、よりダイヤに詳しく説明を行う 3.乗務員の作業を把握することにより知識を深める				
4回	運用手配実践②	1.ダイヤグラムから乗務員の行路を各自作成準備を行う 2.ダイヤグラムと乗務員時刻表及び行路表の照合を行い、よりダイヤに詳しく説明を行う 3.乗務員の作業を把握することにより知識を深める				
5回	運用手配実践③	1.各班ごと行路を決め、乗務員手配及び車両手配の応用を学ぶ ・気象異常時に対する乗務員手配を各班ごとに考え発表を行うことにより、各作業内容を把握する				
6回	運用手配実践④	1.各班ごと行路を決め、乗務員手配及び車両手配の応用を学ぶ ・列車遅延に対する乗務員手配と車両手配を考え発表を行う				
7回	運用手配実践⑤	1.各班ごと行路を決め、乗務員手配及び車両手配の応用を行う ・車両故障に対する乗務員手配と車両手配を考え発表を行う				
8回	運用手配実践⑥	1.各班ごと行路を決め、乗務員手配及び車両手配の応用を学ぶ ・気象異常時に対する乗務員手配を各班ごとに考え発表を行うことにより、各作業内容を把握する				
9回	運用手配実践⑦	1.各班ごと行路を決め、乗務員手配及び車両手配の応用を学ぶ ・列車遅延に対する乗務員手配と車両手配を考え発表を行う				
10回	運用手配実践⑧	1.各班ごと行路を決め、乗務員手配及び車両手配の応用を行う ・車両故障に対する乗務員手配と車両手配を考え発表を行う				
11回	運用手配実践⑨	1.各班ごと行路を決め、乗務員手配及び車両手配の応用を学ぶ ・列車遅延に対する乗務員手配と車両手配を考え発表を行う				
12回	運用手配実践⑩	1.各班ごと行路を決め、乗務員手配及び車両手配の応用を行う ・車両故障に対する乗務員手配と車両手配を考え発表を行う				
13回	期末試験対策	1.知悉度調査を実施する ・知湿度調査を行うことにより理解度を確認する ・理解度の状態を把握し、解説を再度行い、習熟度の向上を図る				
14回	期末試験	1.期末試験 ・理解度の確認及び全体評価				
15回	まとめ	1. 総まとめ、全体質疑 2. 期末試験に対するフィードバック				

対象学年	2年	学期	通年(後期)	学科	鉄道科	
科目名	鉄道実務				クラス	Mクラス
担当講師(フルネーム)	花生 義一				実務経験	有(鉄道業界勤務歴)
授業概要(内容)	鉄道運行に伴う、各職種別の異常時取扱いを学びます 異常時対応能力及びお客さま対応能力向上を目指します				授業形態	講義&演習
到達目標	鉄道員が持つべき知識を習得し、実際に近い行動力を身に付ける					
使用テキスト	わかりやすい鉄道技術(1、2、3)、講師作成プリント					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	1. 鉄道人身傷害事故・踏切障害事故対応 ・運転士及び車掌の対応及び輸送指令員との手続き対応を行い実践に迫った体験を行う 2. 人身事故発生時のモックアップを使用した取扱いの実施				
2回	踏切及び人身事故①	1. 鉄道人身傷害事故・踏切障害事故対応 ・各職別対応の復習とまとめを行い注意すべき点を把握させる 2. 人身事故発生時のモックアップを使用した取扱いの実施				
3回	踏切及び人身事故②	1. 列車の所定停止位置に停止できない場合の取り扱い説明 ・運転士、車掌、指令員、駅員の対応を学ぶ ・お客様から見た処置内容について考える				
4回	停車に関わる取扱い	1. 列車の所定停止位置に停止できない場合の取り扱い実践 ・モックアップを使用した運転士、車掌、指令員、駅員の対応を実践 ・各係員の対応について意見を深める				
5回	運転審査を学ぶ	1. 運転士の国家試験を学ぶ ・試験内容を把握する ・運転審査の状況をモックアップを使用して再現する				
6回	異常事対応能力実践①	1. 鉄道係員の対応について学ぶ ・想定を各班で考え、交換する ・想定に対する取扱いを各班毎発表する				
7回	異常事対応能力実践②	1. 駅及び構内作業ダイヤを学ぶ ・駅作業に対する内容説明 ・構内作業に対する内容説明				
8回	駅作業ダイヤ①	1. 駅及び構内作業ダイヤを学ぶ ・駅作業に対する駅員及び乗務員の運用を考える ・構内作業に対する車両社員及び乗務員運用を考える				
9回	駅作業ダイヤ②	1. 駅及び構内作業ダイヤを学ぶ ・構内作業に対する車両社員及び乗務員運用を考える 2. 車両周期に対する関係社員の取扱いを学ぶ				
10回	駅作業ダイヤ③	1. 鉄道営業法に対する各鉄道企業の取り組み ・鉄道係員に対する勤務体制を知る				
11回	法定労働に関する取扱い	1. 乗務員の勤務と他の係員の勤務の違い ・乗務員の勤務作成時の注意点を学ぶ				
12回	休日勤務に対する取扱い	1. 鉄道会社における休日の取扱いを学ぶ 2. 休日労働に対する考え方 3. 年次有給休暇の取扱い				
13回	期末試験対策	1. 知悉度調査を実施する ・知湿度調査を行うことにより理解度を確認する ・理解度の状態を把握し、解説を再度行い、習熟度の向上を図る				
14回	期末試験	1. 期末試験 ・理解度の確認及び全体評価				
15回	まとめ	1. 総まとめ、全体質疑 2. 期末試験に対するフィードバック				

対象学年	2年	学期	通年(後期)	学科	鉄道科	
科目名	鉄道旅行プランニング				クラス	Mクラス
担当講師(フルネーム)	花生 義一				実務経験	有(鉄道業界勤務歴)
授業概要(内容)	時刻表やコンピューターを用いてのプランニング作業 旅行ポスター・地元紹介ポスターの作成				授業形態	講義&演習
到達目標	プランニング作業の充実、旅行窓口作業の充実、旅行を楽しむ能力向上を身に付ける					
使用テキスト	時刻表、講師作成資料					
成績評価方法	・提出物80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	1.カリキュラムの説明 2.発表内容に説明				
2回	鉄道の旅①	1.JR時刻表を使った鉄道旅行作成 ・お客さまの意向にあったプランニング作業を行う(窓口練習) ・見積書作成時に必要な事項を学び、実施作業を行う				
3回	鉄道の旅②	1.JR時刻表を使った鉄道旅行作成 ・お客さまの意向にあったプランニング作業を行う(窓口練習) ・お客さまの予算に似合ったプランニング作業を行う				
4回	定期観光バスの旅①	1.JR時刻表を使った定期観光バス旅行作成 ・駅業務の中で行う観光各地の旅をお客さまに提供するためのプランニング作業をグループで行う				
5回	定期観光バスの旅②	1.JR時刻表を使った定期観光バス旅行作成 ・駅業務の中で行う観光各地の旅をお客さまに提供するためのプランニング作業をグループで行う				
6回	船舶の旅①	1.JR時刻表を使った船舶旅行作成 ・駅業務の中で行う観光各地の旅をお客さまに提供するためのプランニング作業をグループで行う				
7回	船舶の旅②	1.JR時刻表を使った船舶旅行作成 ・駅業務の中で行う観光各地の旅をお客さまに提供するためのプランニング作業をグループで行う				
8回	航空の旅①	1.JR時刻表を使った航空旅行作成 ・駅業務の中で行う観光各地の旅をお客さまに提供するためのプランニング作業をグループで行う				
9回	航空の旅②	1.JR時刻表を使った航空旅行作成 ・駅業務の中で行う観光各地の旅をお客さまに提供するためのプランニング作業をグループで行う				
10回	ポスター作成①	1.旅行会社と位置付けしたポスター作成 ・日本の名所を宣伝したポスター作成				
11回	ポスター作成②	1.旅行会社と位置付けしたポスター作成 ・日本の名所を宣伝したポスター作成				
12回	ポスター作成③	1.旅行会社と位置付けしたポスター作成 ・地元の名所を宣伝したポスター作成				
13回	ポスター作成④	1.旅行会社と位置付けしたポスター作成 ・地元の名所を宣伝したポスター作成				
14回	発表用プログラム作成②	1.プランニング発表 2.発表用ポスターのまとめ 3.発表プログラムの決定				
15回	まとめ	1. 総まとめ、全体質疑 2. ポスターの発表				

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	鉄道科	
科目名	フレッシュャーズ教育				クラス	M
担当講師(フルネーム)	三石 佳代子				実務経験	有(鉄道業界勤務歴)
授業概要(内容)	社会人になった際に学生と違う部分は何であるのかを、鉄道業界での事例を踏まえ学習する。				授業形態	講義&演習
到達目標	働く上で必要なことを知り、鉄道業界で働く心構えをし、早期離職を防ぐ					
使用テキスト	・講師作成プリント					
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 授業態度・授業に対する熱意・出席率・小テストなどにより総合的に評価を行う				単位数	2
期末試験	2 期末試験なし					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	鉄道会社の組織図、鉄道業界でのキャリアパス、福利厚生・休日などについて				
2回	社会人の基礎について学ぼう	基本的な労働条件、労働・社会保険などを学ぶ。				
3回	会社の法律 ＝就業規則とは？	鉄道業界の就業規則の記載事項について学ぶ 社会人として必ず守らないといけないルールを知る				
4回	給料の内訳を知る	社会保険・労働保険・税金の意味を知り、 使えるお金の範囲で生活をシュミレーションする				
5回	QC活動	仕事に取り組む際には自ら目的意識を持ち、改善することが大切 鉄道業界におけるQC活動を学ぶ				
6回	ビジネス自己分析	これまでの振り返り、就職活動進捗状況報告 自分の行動パターン知ったうえで、上司・同僚・友人の行動パターンを学び どのように接したら円滑に仕事が進むかを考える				
7回	できる新入社員と言われる ためには	報連相の基本 スケジュールリングの大切さ これだけは押さえてほしいビジネスマナー				
8回	アフター5の過ごし方	懇親会のマナー 残業・休日出勤				
9回	マイクロリズム プランニング	近場の魅力を再発見するため、日帰り、または一泊二日の一人旅を企画				
10回	マイクロリズム プランニング 発表会	前週に作成したプランを各自で発表する				
11回	アングーマネジメント	怒りのしくみを知り、コントロールする術を学び、円滑な社会人生活を送ることを目指す				
12回	メンタルヘルス	社会人に多いメンタル不調について学ぶ ストレスや悩みを抱え込まないためにはどうすればよいか検討する				
13回	ストレスタイプを知る	自分自身のストレスの受け方、傾向を知り、 ストレスに強いメンタルを養う				
14回	セルフケア	自分自身で心や身体についてケアするためストレス対処法や 心の健康において良くない状態であればそれを改善し、 良い状態であればそれを保ちながら、さらに良くするためにケアする方法を学ぶ				
15回	2年間のまとめ	働くことに関する総合的なテスト 2年間のまとめ これから社会に出る皆さんへメッセージ				

対象学年	2年	学期	通年(後期)	学科	鉄道科	
科目名	手話				クラス	M
担当講師(フルネーム)	江口由香				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	接客手話と聴覚障のお客様対応と手話表現を学ぶ				授業形態	講義&演習
到達目標	聴覚障害者への理解と手話や筆談での対応法をはあくして仕事に活かせるようになる					
使用テキスト	手話を学ぼう手話で話そう					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	1 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	一日の生活の表現	時の表し方1				
2回	一年のことを話しましょう	時の表し方2				
3回	パーティのことを話しましょう	日常生活の表現 疑問詞の使い方				
4回	旅行のことを話しましょう	旅行に関する手話				
5回	病院のことを話しましょう	病気に関する手話 トラブル時の対応				
6回	職場のことを話しましょう	職場に関する手話と必要性				
7回	接客手話	聴覚障害のあるお客様に対してのサービスの在り方				
8回	聴覚障害の暮らし	聴覚に障害がある人、デフファミリーの生活				
9回	聞こえない世界	聴こえることと聴こえないこと				
10回	卒業制作への取り組み	学んだ手話をおうようしての発表のための活動				
11回	卒業制作への取り組み	学んだ手話をおうようしての発表のための活動				
12回	卒業制作への取り組み	学んだ手話をおうようしての発表のための活動				
13回	卒業制作への取り組み	学んだ手話をおうようしての発表のための活動				
14回	実技テスト兼発表	1年間の集大成としての発表会				
15回	まとめ	手話学習まとめ				

対象学年	2年	学期	通年(後期)	学科	鉄道 科	
科目名	コンピュータ				クラス	M
担当講師(フルネーム)	乙 咩 清美				実務経験	有(通信業界勤務歴)
授業概要(内容)	タイピング、ビジネスレター(文書、メール等)を繰り返し練習する。 Excelを使って、データの集計や報告書などの練習をする。				授業形態	講義&演習
到達目標	キーボード操作のマスター。Excel基礎を学び、自分のスキルとして定着させる。					
使用テキスト	実教出版 30時間でマスターOffice2019					
成績評価方法	・期末試験、課題等70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	1 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	パソコンの活用	クラウドについて Microsoftアカウントの取得・確認とクラウド機能の使い方をマスターする。 データのダウンロードやアップロードをマスターする。				
2回	パソコンの活用	ビジネスメールの練習 ビジネスメールの基本を学び、実際にメールを送信する				
3回	Excel基礎	タイピング練習 Excel2019について、画面構成、文字・数値の入力と編集、テンキー練習 四則演算式と関数、表作成				
4回	Excel基礎	タイピング練習 表作成 関数(SUM・AVERAGE・COUNT・MAX・MINなど)				
5回	Excel基礎	タイピング練習 表作成 相対参照と絶対参照、比率・割合を求める				
6回	Excel基礎	タイピング練習 表作成 関数(IF関数など)				
7回	Office活用	タイピング練習 名簿の作成				
8回	Office活用	タイピング練習 招待状の作成 Excel名簿の差し込み印刷				
9回	Excel基礎	タイピング練習 表作成 グラフ作成(基本的な縦棒・横棒・折れ線・円グラフ)				
10回	Excel基礎	タイピング練習 表作成 関数(IF関数など)				
11回	Excel基礎	タイピング練習 表作成 関数(IF関数など)				
12回	Excel応用	タイピング練習 今までの復習				
13回	Excel応用	タイピング練習 今までの復習				
14回	Excel応用	タイピング練習 今までの復習				
15回	後期期末試験	前期期末試験実施				

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	鉄道科	
科目名	コミュニケーション学				クラス	M
担当講師(フルネーム)	吉良 牧子				実務経験	有(ホテル業界勤務歴)
授業概要(内容)	明日から使える「コミュニケーション」を考え 様々な環境下の中、自らが主体的に発信していくノウハウを学ぶ				授業形態	講義
到達目標	社会で活躍できる人材になる					
使用テキスト	なし					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				ixh	2
期末試験	1 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	自己紹介	これまでの自己紹介とこれからの自己紹介 話を聴いてもらうコツ 感じの良い印象を残すために				
2回	笑顔・挨拶	世界の挨拶 何のため、誰のため、することでどうなるの 第一印象を良くするためのトレーニング				
3回	チェック	日頃のコミュニケーション能力チェック コミュニケーションゲーム・ワーク				
4回	スピーチ	就職問題を使用してのスピーチ作成 勝ち取るためのスピーチとは				
5回	エゴグラム	性格を分析し自分を知る 自分の機嫌をとる				
6回	アンガーマネジメント	怒るの感情をコントロールし職場でいかす 怒りのポイントは人それぞれ タイプ別のコントロール				
7回	お礼状	暑中見舞い、年賀状の由来 お礼状で良い印象を残す 周りがしないことをすることの価値				
8回	男女別世代別	職場で人間関係に困らないために 男女別、世代別のコミュニケーションの回り方				
9回	絵本コミュニケーション	相手へのメッセージはシンプルな方が伝わる ワーク・提出課題あり				
10回	ブログコミュニケーション	印象を残す文章とは そこに集客力があるか おススメを欲しいと思えるか				
11回	就職問題	ネタ作り ワーク・提出課題あり				
12回	チェック	コミュニケーションゲーム・ワーク				
13回	スピーチ1分	課題				
14回	スピーチ3分	課題				
15回	マインドマップ	頭の中を整理する ストレスケア 目標立てと言葉のご褒美				

対象学年	1・2・3年共通	学期	通年(後期)	学科	エアライン、ホテル・ブライダル、鉄道科	
科目名	中国語				クラス	Q・A・A3・M
担当講師(フルネーム)	青山祐子				実務経験	有(通訳翻訳業界勤務歴)
授業概要(内容)	中国語の基礎的な発音・文法・単語を習得し、簡単な会話文について				授業形態	講義
到達目標	中国語の音読、語彙の使い方、文の表現しながら、業務上で使うリスニング能力と会話能力を高めることを目標とする					
使用テキスト	初めまして！中国語(白水社)					
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・期末試50%+小テスト30%+平常点20%				単位数	2
期末試験	1 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	前期の復習	前期習った内容のおさらい				
2回	第8課 バス停で	24. 連動文 25. 前置詞”在” 26. 時刻の言い方 27. ”是”の省略 ◆時を表わす語(2)				
3回	トレーニング8	28. 助動詞 ”会”・”能”・”可以”				
4回	復 習	今まで勉強した内容についての小テスト				
5回	第9課 放課後に	29. 前置詞 ”跟”と”给” 30. 主述述語文				
6回	トレーニング9	31. 様態補語 32. 経験を表わす”过”				
7回	第10課 卓球の中継を見ながら	33. 比較を表わす”比” 34. 動詞 ”喜欢” 小テスト				
8回	第11課 ディズニーランドで待ち合わせ	トレーニング10 35. 進行を表わす”在”				
9回	トレーニング11	36. 方向補語 37. 選択疑問文				
10回	中国語の歌を習おう！	中国語の歌をマスターしよう！				
11回	第12課 カフェテラスで	38. ”是～的”の文 39. 結果補語				
12回	トレーニング12	40. 時間の長さ・動作の回数を表わす語の位置 ◆ 時間の長さを表わす語 小テスト				
13回	期末テスト対策	復習プリント				
14回	期末テスト自己紹介	今まで習った表現を使って自己紹介しよう。				
15回	総復習	これまで習得した表現を使って、業務上で使う会話を実践しよう。				